

No.	年度重点施策		管理項目	目標値
1.	TQM活動の推進を強化することにより、デミング賞挑戦と業績目標の達成を図る。		受注高 完工高 完工利益  生産性指数（P）	××億円 ××億円 ×億円  P > 1.05 以上
2.	各機能の「しくみ」を整備・強化することにより、機能別の目標を達成する。			
2. 1	品質 (Q)	計画の段階において品質レベル確保の具体策を検討することにより、クレーム発生を防止する。	クレーム件数 施工不具合件数	0件 0件
2. 2	原価 (C)	創意工夫による施工方法の改善により、コスト低減を図る。	工事利益率 (A工事)	×%
2. 3	受注 開発 (D)	(1) 新技術の活用により、受注の拡大を図る。 (2) 環境保全技術の改良開発により、新規顧客の開拓を図る。	受注構成比 (A・B工事比率)	×%
2. 4	安全 (S)	自主安全管理を推進することにより、労働災害の防止を図る。	災害発生件数	0件
2. 5	人材 (M)	職場の技術交流と改善活動により、目標達成意欲を高める。	国家資格取得率 品質管理教育履修率	90% 70%

(注) 生産性指数 : A B 工事利益額 / 一般管理費  
保有技術 : A・B 型管理可能技術  
国家資格取得率 : 技術士・施工管理技士・衛生管理者・社会保険労務士などに準じる資格保有者の  
在籍者に占める比率  
品質管理教育履修率 : 履修者 / 在籍者

## ××年度（第24期）社長方針の趣意説明

### 1. TQM活動の推進を強化することにより、デミング賞挑戦と業績目標の達成を図る。

×××年の経済再建計画に基づく公共事業の抑制により建設業界は低迷し、加えてダム関連プロジェクト等、当社が得意とする分野の事業が再評価・見直しされたことにより、受注環境は極めて厳しい状況が続いた。

一方で、先達の努力で培われた経営業績を低下させることなく継続していかなければならないという大きな責務がある。

そのような状況にあって、××年11月5日TQM推進強化宣言およびTQMの本格的な推進と「デミング賞挑戦」を決定し、同時に××年度を最終年度とする「中期経営基本方針」を設定した。

（以下省略）

### 2. 各機能の「しくみ」を整備・強化することにより、機能別目標の達成を図る。

・・・（以下省略）